

ご使用前に必ずお読みください

※取り扱い説明書内のイラストは、製品の仕様変更により、実際の製品と若干異なる場合があります。
※デザイン及び仕様につきましては改良のため予告なしに変更することがございます。

接続機器名/ BT910
パスキー/ 0000 (ゼロを4つ)

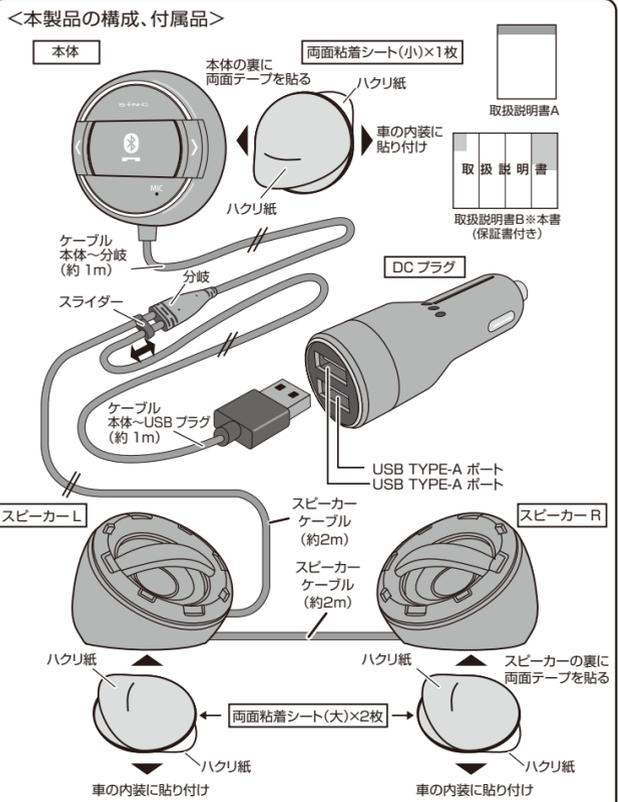
BT 910
Bluetoothデュアルスピーカー

この度は弊社製品をお買い求めいただきましてありがとうございます。ご使用前に本書(取扱説明書B)と別紙の取扱説明書A、接続するBluetooth接続機器の取扱説明書をお読みください。

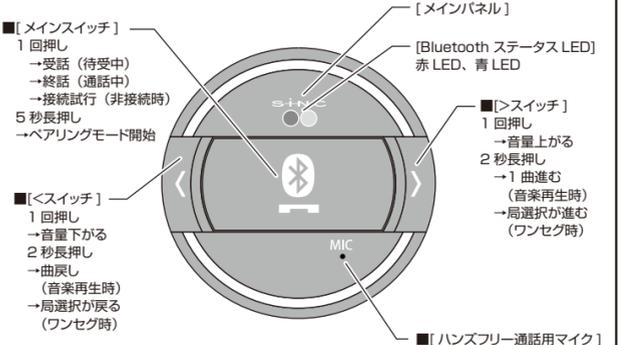
はじめに

本製品はBluetooth対応の携帯電話/スマートフォン/ミュージックプレイヤーなどと接続してお使いいただけますが、本書の中では特に記載のない限り、これらのBluetooth接続機器を「接続機器」もしくは「携帯電話」と表記しております。

本製品の構成と名称、部品のはたらき



<主な操作概要(本体)>



※その他ここに記載のない機能もあります

本製品をご使用する前に行っていただく準備

本製品をお使いになるまでの手順は以下のような流れになります。
【ご使用・取り付けの前に】必ず車を安全な場所に停車してから、機器の接続を行ってください。

1. 開封と確認
2. エンジンをつけてから本機を接続
3. 本製品と携帯電話機をつなぐ
4. スピーカーを取り付ける
5. 本体取り付け場所を決める

1. 開封と内容物の確認
開封後、左下の図を参考に内容物の確認をお願いします。
※万が一、初期不具合や欠落した部品がある場合は、裏面書末記載のお客さまサポートセンターまでお問い合わせください。

2. お車のエンジンをかけてから、DCプラグ、USBプラグの順に本製品を接続します

※最初にエンジンOFFの状態、お車のアクセサリーソケット内のゴミ、灰等をよく取り除いてください。汚れたまま電源プラグを差し込むと接触不良の原因になります。

①本製品ならびに接続機器内部の電子回路に影響を及ぼす可能性があるため、DCプラグを差し込む前にあらかじめお車のエンジンをかけてください。
②本製品のDCプラグ部分をお車のアクセサリーソケットが振動等で抜け落ちることのないよう奥までしっかり差し込んでください。

※通電するとUSBポート内のLEDが青点灯します。
※脱着する際には、必ず電源プラグ部の根元をしっかりと持ち、アクセサリーソケットに対し必ず水平にゆっくり抜いてください。回転させたり、斜めにして無理に抜くと破損の原因になります。

③DCプラグを挿し込んでから、本製品本体ケーブルの先のUSBプラグをDCプラグのUSBポートに挿し込んでください。

※上下どちらのUSBポートでもご使用可能です。
※USBプラグを挿し込むと、本製品のスピーカーLEDが点灯します。

3. 本製品とBluetooth機能付き接続機器(携帯電話機など)をつなぎます

本製品をはじめてご使用になる場合、接続する携帯電話機とペアリングしてください。

携帯電話機などのペアリング(機器登録)から接続までの手順は、別紙の取扱説明書Aに詳しく記載しています。そちらも必ず参照願います。

【ペアリング(機器登録)~Bluetooth接続まで】

①本製品と携帯電話機の間には障害がないようなるべく近づけてください。
②携帯電話機に本製品以外の他のBluetooth機器が接続されている場合、一旦その機器との接続を切るか、その機器の電源を切ってください。

③本製品をペアリングモードにする
※【工場出荷時やリセット後の場合】本機に通電が行われてから20秒そのまま待つと、自動的にペアリングモードになります(本機メインパネル右側のLEDが赤と青の交互点滅)。リセット後の場合、その直後からペアリングモードを開始します(いずれも3分間で自動解除されます)。
※【手動で行う場合】自動でペアリングモードにならない場合や、携帯電話機の買い替えなどでペアリング登録を改めて行いたい場合は、【メインスイッチ】を5秒間長押ししてペアリングモードにしてください。

④携帯電話機をBluetooth探索(サーチ)モードにして、本機の機種名をリストアップする。
※携帯電話機の【設定】画面から【Bluetooth設定】を開き、【Bluetooth機能】をONにして機器の【探索(サーチ)】を選択してください。

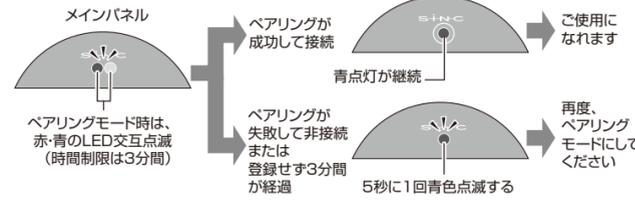
携帯電話機の機種により用語や手順が異なりますので、別紙の取扱説明書Aと携帯電話機の取扱説明書(マニュアル)も予めご確認ください。

※通常、数秒から数十秒で探索の結果が表示されます。本機の製品番号がリストに表示されたら、タップなどの操作で選択してください。

※選択後、パスキー(Bluetooth認証PINコード)を要求された場合、「0000(ゼロを4つ)」を入力します。

⑤数秒待つとペアリング(機器登録)が完了し、携帯電話機への機器登録が成功します。接続機器によっては、そのまま自動で接続されます。

※ペアリングが失敗した場合や3分以内にペアリング登録が完了しなかった場合、本機のLEDランプが青点滅になります。その場合はDCプラグを一旦差し、再度挿入して電源を入れなおしてください。工場出荷時は電源を入れて20秒待つと再度ペアリングモードを3分間行います。すでに機種登録を行った場合やペアリングモードが開始されない場合は、メインスイッチを5秒間長押しして手動でペアリングモードにしてください。



⑥自動で接続されない場合、携帯電話機のリストに表示されたBT910を選択やタップを行い、接続状況を確認して携帯電話機側で接続を完了してください。
※携帯電話機側で本機のペアリング登録を削除していなければ、本機の電源を入れ直す度に自動接続を試行します(機器登録を8台以上行った場合や長い期間ご使用にならなかった場合などは手動で接続を行うか、ペアリング登録を再度行なってください)。
※一部の携帯電話機や設定、仕様によっては、自動で再接続しない場合がありますので、その場合は手動で再度接続を行ってください。
※電源オンの時にメインスイッチを約5秒間長押しすると、強制的にペアリングモードになり、携帯電話機のペアリング登録が外れ、再度ペアリング登録をする必要になる場合がありますのでご注意ください。

4. スピーカーを車の内装(ダッシュボード等)に貼り付けます。

※スピーカーを取り付ける場所を固定する前に、音楽再生や通話を行ってより聞こえやすい位置や向きに調整してください。

※車外からスピーカーの光源が直接見えないように設置してください。また保安基準や、各都道府県の条例に従って正しく使用されない場合は、取り締まりの対象となる場合がありますのでご注意ください。

※貼り付け場所は、平らな場所で、エアバッグ作動時に影響が大きい場所を選んでください(天然皮革材、起毛処理箇所、塗装箇所を避けてください)。

※ケーブルはなるべく伸ばしてお使いください。東にしハクリ紙、たまたまお使いになると、ノイズが入る場合があります。

※固定前のテストが終わったら、実際の取り付けを右の手順で行います。

※必ずスピーカーを両面テープで固定してください。脱落などをすると大変危険です。

※貼る場所のホコリ、油分、汚れなどを予め中性洗剤などで拭き取り、乾いたことを確認したら、作業を行ってください。

※曲率が大きい曲面に貼り付けると、スピーカーの貼り付けができなくなったり、振動による脱落の原因になります。

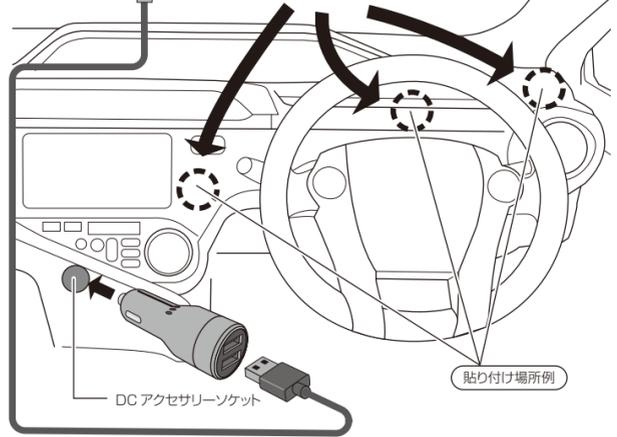
5. 本体を取り付ける

※本体を取り付ける場所を固定する前に、通話や音楽再生をお試しください。
※本体を取り付ける際は安全の為、運転操作の妨げやエアバッグ作動時に影響がない場所を選んでください(天然皮革材、起毛処理箇所、塗装箇所を避けてください)。

※ケーブルはなるべく伸ばしてお使いください。東にしハクリ紙、たまたまお使いになると、ノイズが入る場合があります。

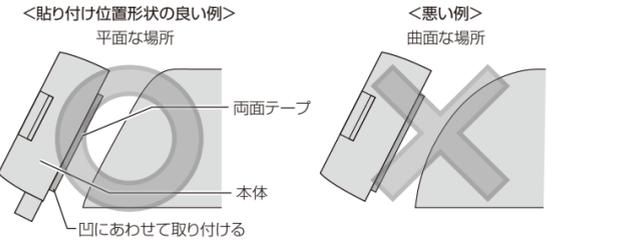
※取り付け位置を固定する前に、必ず製品の内蔵マイクが使える位置であることを予め確認ください。

①固定前のテストが終わったら、実際の取り付けを下記の手順で行います。
②下の図を参考に、本体が無理なく手が届き、マイクが正常に使える場所を取り付け位置に決めてください。



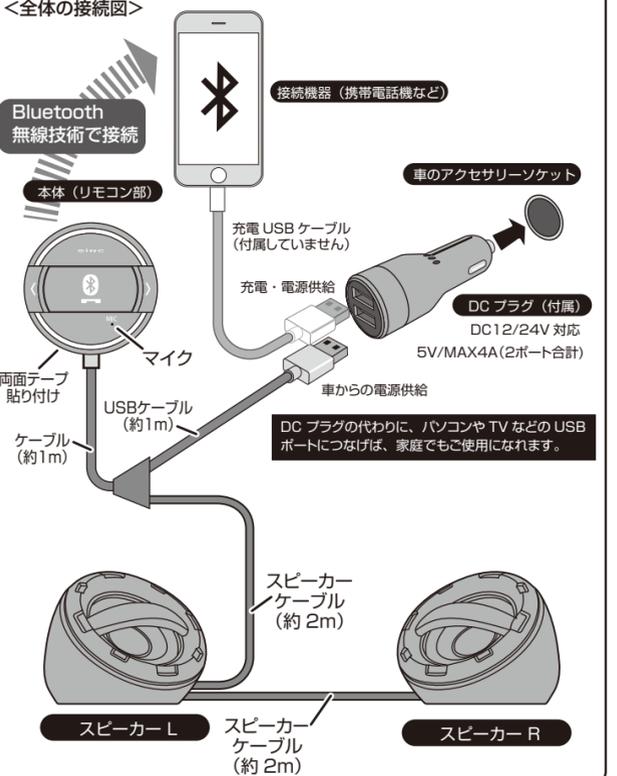
※必ず両面テープでしっかりと固定してください。脱落などをすると大変危険です。
※貼り付ける場所のホコリ、油分、汚れなどを予め中性洗剤などで拭き取り、乾いたことを確認したら、作業を行ってください。

※貼り付け場所は、スイッチ、表示が見やすく、平らな場所に取り付けてください。
※曲率が大きい曲面に貼り付けると、本体の貼り付けができなくなったり、脱落の原因になります。



②両面テープの剥離紙をはがし本体裏の凹に合わせて貼り付けてください。
③その後、①で予め決めた位置に貼り付けてください。

※貼り付けた後は24時間放置してください。
※運転中のリモコン操作は危険ですので絶対にお止めください。必ず、お車を停車し、安全ご確認の上、ご使用願います。



製品仕様

項目	仕様
Bluetooth仕様	Version 4.1+EDR
Bluetooth対応プロファイル	HSP, HFP, A2DP, AVRCP
Bluetooth無線周波数	2.4 GHz スペクトラム
使用可能距離	見通し 10 m
消費電力	最大時1.6W(USB充電時含む)
変調周波数特性	20~15000Hz
SNレシオ	50dB以上
製品寸法:重量 (本体+ケーブル+スピーカーのみ)	本体: H16× W52× D58mm スピーカー: H16× W52× D58mm 約290g
マルチペアリング	○ (8台まで対応)
接続機器表示名	BT910
パスキーコード	0000 (ゼロを4つ)
電源端子	USB TYPE-Aプラグ
DC充電器USB出力電力	2ポート 合計4A
ケーブル長	約1m(分岐~本体) 約1m(分岐~USB-Aプラグ) 約2m(分岐~スピーカーL) 約2m(スピーカーL~スピーカーR)
規格	電波法2.4GHz帯工事設計認証

2. 主要操作一覧

<主なLEDインジケータの状況表示(Bluetoothのインジケータ)>

青点灯継続	5秒に1回 青点滅が継続	青速く 点滅	赤/青 交互点滅	赤5回点滅	青 高速点滅 継続
接続中	未接続	確認サイン	ペアリングモード	リセット 完了	着信中

<主な操作、電子音、LEDのはたらき>

機能、状態	操作もしくはは操作の結果	LED表示	電子音
電源 ON	通電開始直後	青 2~3回以上連続点滅	“ピポ(ハポ)”
ペアリングモード	自動もしくは手動でペアリングモード	赤 / 青交互点滅	“ピポ”
ペアリング失敗	3分以内にペアリングが成功しない	青 2 回連続点滅	“ポー”
ペアリング完了	ペアリング (機種登録) が成功	青 2 回連続点滅	“ピポ”
接続	登録機種と接続した時	青 2 回連続点滅	“ピポ”
待受け待機中	ペアリング済み機器と接続中	青点灯継続	—
接続している端末がない	ペアリングが失敗した時、接続解除後	青 5 秒ごとに 2 回点滅	—
接続解除	接続切断時や Bluetooth 機能切の時	青 2 回連続点滅	“ポー”
通話音量調節	[<] で下がる、[>] で上がる	青 2 回連続点滅	—
音楽再生 / 一時停止	待受け時、メインスイッチを 1 回押す	—	—
リダイヤル	待受け時、メインスイッチを短く 2 回押す	5 秒間隔青 2 回点滅	—
Siri 起動 (iPhone)	待受け時、メインスイッチを 2 秒長押し	—	“ポ”
着信	接続して待ち受け時に着信した時	—	呼び出し音
受話	着信時、メインスイッチを 1 回押す	—	“ポ”
終話	通話中、メインスイッチを 1 回押す	—	“ポ”
通話中接続切り替え	通話中にメインスイッチを 2 秒押す	—	“ポー”
着信拒否	着信時、メインスイッチを 2 秒押す	—	“ポー”+“ポ”
リセット	電源 ON で [<]、[>] スwitch を同時に 7 秒間押す	赤連続 5 回点滅	“ポ”・“ポ”・“ポ”

※上記は代表的な内容ですので、ご使用に差し支えない範囲で予告なく変更される場合があります。

※上記の操作、動作、LEDの点灯、電子音の発生は全ての接続機器に反映されるわけではありません。一部の機種では内容が変わる場合があります。

※HFP(ハンズフリープロファイル)が使用できない携帯電話では、本機からのリダイヤルはできません。携帯電話を通常操作してダイヤルし、その後、本製品での通話に切り替えてください。

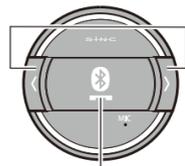
本製品のご使用方法

1. ペアリング(機種登録)、接続試行、リセット操作 ※取扱説明書Aをご参照します

■ペアリング(機種登録)モードや接続をする場合のスイッチ操作は以下の通りです。
■工場出荷時は電源を入れて20秒後(リセット時は直後)に自動的にペアリングモードになります。

※ペアリングや接続に関しては、別紙の取扱説明書Aと取扱説明書B(本書)の表面に詳しい記載をしております。必ずそちらもご覧になっていただき、ご使用願います。

ペアリングモード(手動)	電源が入っている状態で、メインスイッチを 5 秒間押す
リセット	[<] と [>] の両方のスイッチを同時に 7 秒間押す



<リセット>
[<]、[>]を同時に7秒間押し続けると、赤いLEDが5回点滅して本機メモリのリセットを行い、工場出荷状態に戻ります。
リセットしてからお使いになる場合は、ペアリング(機器登録)から設定しなおしてください。

[メインスイッチ]

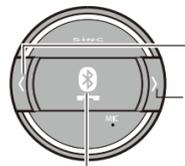
- 電源入時、5秒間連続で押す▶ペアリング(機種登録)モードに移行
- 接続機種と非接続時に1回押す▶ペアリングした機種との接続を試行します
- iPhone(※一部例外あり)と接続時、2秒長押しして指を離すと▶[siri]が起動します。
※Androidでは一部の機種で[ボイスダイヤル]が起動します。

※電源オンの時にメインスイッチを約5秒間長押しすると、強制的にペアリングモードになり、携帯電話機のパワーオン登録が外れ、再度ペアリング登録をする必要になる事があるので、ご注意ください。

2. ハンズフリー機能を使う

携帯電話機とつないでハンズフリー通話をする場合に使えるスイッチ操作は以下の通りです。

電話を受ける	着信時、メインスイッチを 1 回押す
電話をかける	待ち受け時、携帯電話機側で発信操作を行う
音量の調整	[< (音量下げる)]、[> (音量上げる)] スwitch を押す



[[<] スwitch]
1 回押す ▶こちらが聞こえる音量を下げる

[[>] スwitch]
1 回押す ▶こちらが聞こえる音量を上げる

[メインスイッチ]

- 着信時 1 回押す ▶電話を受けます
- 着信時 2 秒長押しする ▶着信拒否
- 通話時 1 回押す ▶通話を終了します
- 通話時 2 秒長押しする ▶携帯電話機への切り替え(もう一度 2 秒長押しして再接続)
- 待受け中短く 2 回連続で押す ▶直前に掛けた電話番号に再発信(ラストナンバーダイヤル)

※携帯電話機側で発信操作を行った後、一部の携帯電話機では、本機にハンズフリー通話を受け渡す為に携帯電話機側での操作が必要な場合があります。その場合は発信後に携帯電話機で下記のような操作を行ってください。

通信事業者 / 端末機種など	操作もしくはは操作の結果
iPhone	初期設定は自動接続。手動では音声出力先に本機 [BT910] を選びます
主なAndroid Android(SHARPの一部)	初期設定は一部を除き自動接続。手動ではMenuで「Bluetooth」を選択Menuで「Bluetooth」を選択。端末のBluetooth設定で「常にハンズフリー」を選択すると、発信後、自動で本機に通話の受け渡しを行います
docomo端末機種	携帯電話機で発信後、[通話ボタン]を長押ししてください
au端末機種	携帯電話機で発信後、[Eボタン]を押してください
SoftBankの端末機種	携帯電話機によって操作が異なります。端末の取扱説明書をご確認ください。

※上記はあくまで主な一例です。端末機種により、この上記の内容以外の方法もありますので、携帯電話機の取扱説明書をご確認ください。

3. 音楽を聴く

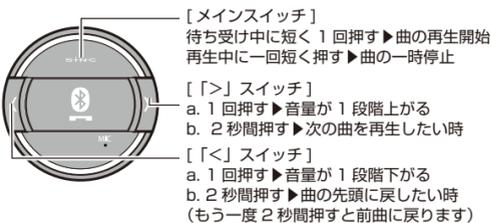
①音楽再生可能な接続機種とつないで音楽を聴く場合のスイッチ操作は以下の通りです。

※接続機種の音楽再生をする場合は、相手側にもA2DPが搭載され、本製品との間でA2DP接続している事が必要です。手動の接続が必要な場合がありますので、接続機種の取扱説明書をご確認ください。

※再生、一時停止、曲送り、曲戻しなどの操作を行う為には、接続機種側にもAVRCP機能が必要です。

※音楽再生時、音量調節時の最大音量、最小音量になった時は、押す度にBeep音が鳴ってお知らせします。

音楽の再生開始	待ち受け時、メインスイッチを 1 回押す
音楽の一時停止	音楽再生時、メインスイッチを 1 回押す
音楽の曲戻し	音楽再生時、[<] スwitch を 2 秒間押す
音楽の曲送り	音楽再生時、[>] スwitch を 2 秒間押す
音量の調整	[< (音量下げる)]、[> (音量上げる)] スwitch を押す



[メインスイッチ]

待ち受け中に短く 1 回押す ▶曲の再生開始
再生中に一回短く押す ▶曲の一時停止

[[>] スwitch]
a. 1 回押す ▶音量が 1 段階上がる
b. 2 秒間押す ▶次の曲を再生したい時

[[<] スwitch]
a. 1 回押す ▶音量が 1 段階下がる
b. 2 秒間押す ▶曲の先頭に戻りたい時
(もう一度 2 秒間押すと前曲に戻ります)

※オーディオ、ワンセグ再生時の音量操作は、携帯電話機側の音量設定とリンクしません。本機からのオーディオ出力を調整する機能となります。本機の音量調整と携帯電話機の音量調整、カーオーディオの音量調整の3つで最適な音質・音量になるよう調整してください。(ハンズフリー通話の音量操作は携帯電話機側の音量設定とリンクします)

4. ワンセグを試聴する

①ワンセグ試聴が可能な機種とつないで音声聴く場合のスイッチ操作は以下の通りです。

※本機はSCMS-T方式で保護された音楽やワンセグ放送の音声に対応しています。以下の操作を行う場合は、接続機器側もA2DP、AVRCPが対応して接続しており、SCMS-T方式にも対応している事が必要です。詳しくは接続機器の取扱説明書をご確認ください。

音声の再生開始	ワンセグソフトを携帯電話機側で起動
チャンネルの選択	[<]、[>] スwitch をそれぞれ 2 秒間押す ※携帯電話機のリストに沿って受信局が変わります。
音量の調整 (音楽再生と同じ)	[< (音量下げる)]、[> (音量上げる)] スwitch を押す



[[>] スwitch]
① 2 秒間押す ▶受信局の選択
② 1 回押す ▶音量を上げる

[[<] スwitch]
① 2 秒間押す ▶受信局の選択
② 1 回押す ▶音量を下げる

5. その他(通信範囲から逸脱した後の接続状況)

①接続中の携帯電話が機器の通信範囲(約10m)から離れた場合、Beep音が鳴って警告し、接続(リンク)が切断します。通信範囲(約10m以内)に戻れば、自動で再接続を試みます。

②10m以内に戻っても自動接続しない場合は、メインスイッチを1回押すと再接続を試みます。

③10m以上離れたまま接続が切れて戻らない場合は、10m以内に戻ってから携帯電話機側の操作で再接続を行ってください。

④携帯電話側でBluetoothをオフにした後、再度Bluetoothをオンにした時は、自動で再接続するか、電源メインスイッチを1回押すと手動で再接続を試みます。

6. DC充電器からUSBケーブルで機器を充電する

■DCプラグはUSB TYPE-A 2ポートを備えていますので、空いているもう片方のポートにUSBケーブルをつないで充電が可能です(上下合わせて最大4A出力です)。

※プラグケーブル脱着の際は、プラグ根元を持って、まっすぐにゆっくりに挿して(引き抜いて)ください。

取り扱い上の注意

●以下の警告・注意をお読みの上、正しくご使用ください。

●警告・注意に従わない場合など、誤ったご使用をされた際の事故、故障、破損などにつきましては、接続する携帯電話機も含めて当社では一切その責任、保証は負いかねます。

右の絵表示の区分は、お守りいただく内
容を説明しています。

警告 ここに記載された事項を無視してお使いになると、使用者が死亡または障害を負ったり、物的損害を被る危険性があります。

●車を運転中での本製品並びに接続機器の操作は絶対にお止めください。また、工事現場の近く、駅のホームなどの交通機関など、危険な場所では本製品のご使用を中止してください。

運転者による携帯電話の操作は事故などの原因となります。また、本製品の連続的な操作、取扱い、充電ケーブルの抜き差し、DC充電器の操作も運転操作の妨げになりますのでやめてください。本製品のいかなる操作も、お車を安全な場所に駐車してからおこなってください。

●本製品を濡らさないでください。また、濡れた手でさわらないでください。
水分にさらされたり内部に水が侵入したままご使用になると、故障や火災、発熱、感電、けがなどの原因となります。また、本体、特に端子やポート内が濡れた場合は、乾いた布で水を拭き取り、よく乾燥させてからご使用ください。

●分解、改造、後加工、乱暴な扱いはしないでください。
火災、感電、故障、けがなどの原因となります。また、DC充電器を分解・切断しての直接配線、傷がついた状態でのご使用、ケーブルをきつく結ぶなどの行為は故障、事故の原因になるので、絶対にやめてください。

●付属のDCプラグは、DC12/24Vのマイナスアース車で使用してください。
指定外の電源、電圧で使用する、感電、発火、発熱、故障、けがの原因となります。
付属のDC充電器は自動車用です。お車のアクセサリソケット電源以外のご使用はおやめください。また、DC充電器をご使用する時には、車のバッテリー保護のために必ずエンジンをかけた状態でご使用してください。

●小さなお子様(乳幼児)やペットなどに与えたり、接触できる場所に放置しないでください。
小さな部品を飲み込むなど、事故のおそれがあります。

●電気製品または高周波無線機器の電源を切ることで定められている場所(病院、交通機関、一部の工事現場など)では、各施設の指示に従って電源をお切りください。

●本製品と同じ2.4GHz帯を使用した機器のまわりでは使用しないでください。
本製品の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、各種無線局が運用されています。本製品を使用する前に、近くでこれらの機器の使用及び各種無線局が運用されていないことを確認してください。

注意 ここに記載された事項を無視してお使いになると、けがをしたり、物的損害を被る危険性があります。

●お車のエアバッグ拡張範囲に本製品や付属品を放置、保管しないでください。
エアバッグ作動時に影響が出たり、事故、けがの原因になります。

●本製品の使用温度は0~40℃。保管温度は-20~60℃です。それ以外の環境でのご使用、保管はお止めください。
製品の故障や、性能を損ねるおそれがあります。

●クリーニングするときにアルコールや研磨剤入りの洗剤は使用しないでください。
傷がついたり、表面の塗装部がはがれるおそれがあります。汚れが付着した場合は、乾いた布でお拭きください。

●DCプラグのヒューズが破損した時には、お車のヒューズボックスにあるすべてのヒューズに破損がないか確認してください。
車の機能(ヘッドライト、空冷ファンなど)に支障がないことを確認してください。

●DCプラグの接続は確実におこなってください。
使用される前に、DC充電器がお車のアクセサリソケットに奥まで確実に差し込まれているか確認してください。また走行中にも振動によりDC充電器が外れることがあります。接触不良の状態で使用した場合、DCプラグやお車のヒューズ、アクセサリソケット破損の原因になります。

●付属しているDCプラグ以外で使用しないでください。
製品の故障や、性能を損ねるおそれがあります。

困った時は...

●故障かな?と思ったときは、お問い合わせいただく前に、本取扱説明書をもう一度お読みになり、操作に誤りがないか確かめください。また、次の項目をご確認ください。

以下のような症状で使用できない場合の対処法
■携帯電話で検索(サーチ)しても本機の機種名「BT910」が表示されない
■ペアリングは完了したが接続できていない
■ペアリング済みの携帯電話が再接続(自動再接続)できない
■ペアリング済み、接続済みの携帯電話で通話できない

このような症状が継続の場合は、電波障害や一時的なフリーズが原因だと考えられます。対処方法として下記の操作をお試しください。

- ①携帯電話の電源をオフにして、再度電源をオンにする。※リセットをするより確実です。
 - ②本機の電源をオフにして、再度電源をオンにする。
- 上記の方法でほとんどの症状が解消されますが、解消しない場合は、携帯電話のBluetooth登録機器リストから本機の機種名「BT910」を削除し、再度ペアリングしてください。
それでも解消されない場合は、リセットをお試しください。

症状や疑問点	確認していただくこと
電源がオンにならない	本機のDCプラグか車のヒューズが切れている場合があります。
電源をオンにする 赤/青交互点滅になる	本機がどの携帯電話ともペアリングされていない状態(お買い求め直後)では、電源をオンにする、20秒後に自動的にペアリングモードになります(リセット直後はすぐにペアリングモード)。 ペアリングモードにならない
ペアリングができない	携帯電話が不適合機種である可能性があります。適合表とペアリング手順をもう一度ご確認ください。 また、ペアリングが完了しない場合は、電源をオフにして20秒待機してから再度お試しください。
バスキー(PIN)がわからない	本製品のバスキーは「0000(ゼロを4つ)」です。
通話、受信ができない	携帯電話の電源とBluetooth機能がオフになっていませんか?HFPで接続されているか、携帯電話機の設定画面をご確認ください。 一部の携帯電話機(SHARP製など)では着信時に携帯電話機側で受話を選択すると、自動でBluetooth機器をつながらない設定になっている場合があります。携帯電話機側の設定、取扱説明書を確認の上、ハンズフリーの設定にしてください。 着信中にメインスイッチを長押ししてしまうと着信拒否になってしまいます。通話を受けるには短く1回押ししてください。
通話中にノイズが聞こえる 通話中に音がとぎれる	携帯電話機の音声レベルは機種によって異なります。機種によっては元々音声レベルが高かったり、音声出力が小さいなど、ノイズや自分の声が聞こえやすい機種があります。 携帯電話の電波状態が悪い可能性があります。携帯電話の画面で、電波レベルを確認してください。また他の無線機器と接触している場合や、携帯電話の電波が混雑しやすい環境下、携帯電話のつながらにくい環境下では、本製品の使用の有無に関わらず通話品質は落ちます。 携帯電話と通信障害が起きている可能性があります。携帯電話との距離が離れすぎているか、携帯電話との間に電波を遮断するような物や、電気機器などが無いか確認してください。 携帯電話をスマホの後ろポケットやバッグ類に収納している場合など、携帯電話と本製品本体との間に身体を挟むとノイズの原因となる場合があります。
音が聞こえない 着信音が聞こえない	自動ドアや電子レンジ、2.4GHz帯周波数帯を発生する機材が近くにあって、工業設備、アンテナ施設などが近くで稼働している場合は、電波の干渉を受け、音が飛んだりする場合があります。また、ケーブルに傷が付いたり、極端に曲がった状態になっていないかご確認ください。 携帯電話とペアリング及び接続ができていない可能性があります。ペアリング及び接続が正常に行われているか、確認してください。 通話中にメインスイッチを2秒間長押しすると、通話が携帯電話に切り替わり、スピーカーから音声聞こえなくなります。その後の通話及び操作は携帯電話で行ってください。
本機側で発信ダイヤルできない リダイヤルできない	HFP(ハンズフリープロファイル)が使用できない携帯電話では、本機からのリダイヤルはできません。携帯電話の発信履歴などから通常操作してダイヤルしてください。 HSP(ヘッドセットプロファイル)で接続している可能性があります。
使用中に電源が切れる	DCプラグやUSBプラグが緩んでいないか確認してください。
ペアリング成功後に電源を再投入すると自動接続されない 携帯電話との接続(リンク)切断後、通信範囲内に戻っても自動接続されない	携帯電話の機種やバージョンによっては自動認識されず、携帯電話側でBluetooth機器の接続設定を必要としたり、再度ペアリングが必要となる場合があります。詳しくは携帯電話の取扱説明書をご確認ください。 本製品をペアリング後、長期間使用していない場合は、自動認識されない場合があります。ご使用になる前に携帯電話の接続機器リストより本製品を手動で再接続してください(※ペアリングではありません)。 メインスイッチを1回押すと、自動接続を試行して接続できる場合があります。
ワンセグの音声や音楽が聞こえない	携帯電話機側がSCMS-T対応ができていない可能性があります。携帯電話機が対応していない場合、ワンセグ放送は聞けません。 ハンズフリーの他に、A2DPもしくはオーディオでの接続がされているかご確認ください。詳しい接続方法は携帯電話機の取扱説明書をご確認ください。
パソコンと接続したい	パソコン側のBluetooth機器がHSP(ヘッドセットプロファイル)に対応していれば接続とご使用は可能ですが、相互接続はOSやソフトウェアなどの互換性によることから保証しておりません。また、パソコンとの接続に関するサポートは一切行っておりません。
LINEや動画のサイトの音声がかこえない	携帯電話機で試聴可能なLINEや動画サイトの音声データは、APPやソフトウェアの仕様に依存するため、今迄使えたものがアップデートやアップグレードにより聞こえなくなったり、操作ができなくなる場合があります。
DCプラグが破損・紛失した	保証期間内の初期不具合に関しては修理、交換いたします。保証期間外や、取扱い不注意による破損、紛失の場合、修理、交換、代替品の提供などはできませんのでご了承ください。また、同梱品以外のDCやAC充電器、二次電池充電器をご使用になった場合の故障、不具合に関しては、当社では一切の責任を負えない事をご了承ください。

※接続する携帯電話の取扱説明書も必ずご確認ください。